



SESERAGI-MISHIMA  
ROTARY CLUB  
WEEKLY REPORT

クラブ  
週報

2011~2012年度 RI会長 カルヤン・パネルジー  
RIテーマ REACH WITHIN TO EMBRACE HUMANITY 心の中を見つめよう、博愛を広げるために

クラブテーマ「会員同志の職業を理解し出来ることはし助け合おう」会長 渡邊照芳  
副会長 太田政人 幹事 山田定男

第1093回 例会  
2012.6.8

司会:石井和郎君 指揮:山本 章君  
ロータリーソング「我等の生業」

事務所 三島市中央町4-9 小野住理中央町ビル2F  
TEL. 055-976-6351 FAX. 055-976-6352  
<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>  
せせらぎ三島ロータリークラブ 検索  
例会場 ブケ東海三島  
TEL.055-984-0120  
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

## 会長挨拶

会長 渡邊照芳君



本日は、米山晴敏君の職業紹介をさせていただきます。米山君は、(株)共同開発の代表取締役で住宅用地・宅地分譲事業をおこなっております。大学卒業後は、静岡トヨタ販売に入り特販課で営業を

やっていたそうです。当時日本は、高度成長期という事もあり車の売れゆきも良く又販売成績でNO1という時もあり月に30万~40万円位の給料をもらっていたそうです。同じ年齢の友達に比べかなりの高給を取っていたが、はっきり言って狂っていたそうです。(かなり色々な面で遊び狂っていたと思います)。

そして、このままでは人間がダメになると思い3年でトヨタをやめ、6~7年決まった会社に勤めず色々な会社の営業の手伝いをしながら、32歳の時今の会社を立ち上げました。

会社を興した最初の頃は、ボーナスも払えず金銭的にかなり苦しかった又金融機関からの借り入れ時の保証人も親から協力してもらえず苦しかったが、役所に勤めていた12歳はなれている兄が、面倒をみてくれて大変助かったと言っていました。生きている時は大変厳しかった父が亡くなった時、自分達家族名義に残した定期預金の通帳を覗いた時、又生前自分の会社の事を大変心配していた事兄から聞いた時、もう少し親孝行をしていれば良かったと言っていました。

30年この仕事をしていて感じた事は「やまびこと、たらいの水」自分の言った言葉・言動は必ず帰ってくる。そして手前に引き入れようとするのと逃げていく、押してやると戻ってくる。お客様・相手に対して一生懸命尽くせば必ず相手は理解してくれる。そして後から自分に還ってくる。この仕事をしていていつも心掛けているそうです。今、息子さんも会社に入っ

て仕事をしているが、息子さんには会社を継がなければならぬと言うプレッシャー感も少し自由に仕事してもらいたい、今の会社は息子がやれる力があればよし他に出来る人材があればよし、そして65歳で現役を退きたい。そして、その後何をやるか今模索中である。何か良い考えがあれば教えてほしいと言っていました。

私も米ちゃんとは付き合いも長く色々遊んでもらっていますが非常に付き合いが良く、かなり体がきつい時でも顔に出さず付き合ってくれます。彼が7年前に大腸ガンの手術をした時も、仲間にはその素振りを見せず平常どおり接してくれました、米ちゃんが飲み屋の色紙によく書く言葉「義理と人情とやせ我慢」その通りの人生だと思えます。還暦もすぎ体力も落ちてきたと思えますので、これからは遊びもぼちぼちやりましょう。

## 出席報告

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	29/34	85.29%	30/34	88.24%
今回	29/34	85.29%	会員総数	35名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

内田君、片野君、杉山(隆)君、西原君、服部君

## 幹事報告

幹事 山田定男君

### 1. 例会変更

三島RC	6月27日(水)	さよなら例会	リオ
三島西RC	6月28日(木)	サヨナラ例会	はなぶさ旅館
伊豆中央RC	6月26日(火)	新旧役員交代会	大仁洋行パーク

黒子(ハイツ)とは、中華人民共和国に於いて、一人っ子政策に反して生まれた事を原因とする、戸籍を持たない子供たちの事である。その数は数千万から数億人とはばらつきがあり、実数ははっきりしていない。

この言葉における黒は「闇」という意味で、これは政府の視点による言葉である。背景には一人っ子政策における賞罰の明確性が挙げられる。

一人っ子の時には様々な恩恵が得られるのに対し、二人以上の子供をもつと「両親ともに昇級、昇進の停止」、「学校への優先入学権の剥奪」、「各種手当の停止」などの極めて大きな待遇の差が生じる。こうしたことから逃れるために、二人目以降の子供の出生登録をしないという事態が起こっている。

特に労働力を必要とする西部の農村地域ではその傾向が強いと考えられている。農村では、一人っ子政策実施以降、男子の誕生を願う傾向が強化され、胎児が女子であることが分かると中絶することも多く、人口統計でも男子の誕生割合が他国に比して極めて高いという結果となって現れている。

又、中国の一部では、子供が生まれてから数時間の間に密輸業者に売られ、その業者が中国国内の富裕層や外国へその子供たちを売り飛ばしていると言われている。

たとえば、福建省の北部では80年代から90年代にかけて、一万人以上の乳幼児が仲介業者に売られたとされる。



## スマイルボックス

**岡 良森君**:今年から国際交流協会では在留外国人支援関連の仕事でがんばっています。1700余名の市内在住外国人のお世話がメインです。

**米山晴敏君**:渡邊会長、職業紹介の時に良い事だけをおっしゃっていただきありがとうございます。

**矢岸貞夫君**:先週は誕生日プレゼントありがとうございました。本日は今年度3回目の卓話です。話す事はありません。いいかげんにして下さい。

**山本良一君**:本日、矢岸さんの卓話、いい人が待っていますので早退します。いい卓話が聞けず残念です。

## ポリオ撲滅は公共保健上の緊急課題

世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)はこの度、「2012-13年世界ポリオ緊急行動計画(Global Polio Emergency Action Plan 2012-13)」を立ち上げました。この1年間でポリオ発症数は大幅な減少を見せているものの、いまだに資金不足の問題が残されており、予防接種の徹底化も緊急に求められています。

この計画は、3つのポリオ常在国(ナイジェリア、パキスタン、アフガニスタン)における予防接種活動を充実化させることを目的としています。5月25日、ジュネーブで開かれた2012年世界保健総会でも、各国の保健大臣がポリオ撲滅を「世界公共保健プログラムの緊急事態」として宣言するための決議を可決しました。

2010年以降、ポリオ撲滅活動では大きな進展が見られました。インドは2012年2月に世界保健機関(WHO)によりポリオ常在国リストから除外され、ポリオがなくなった国における再発生は抑えられています。しかし、同じく2010年以降、パキスタンやナイジェリアからのウイルス流入により、中国や西アフリカでポリオの新たな感染者が確認されています。今、ポリオを完全に撲滅しなければ、今後10年間で20万人の子どもたちがポリオの脅威にさらされると予想されています。

世界保健機関のマーガレット・チャン事務局長は、「ポリオ撲滅は、成功と失敗の分かれ目にあり、緊急事態として、ポリオの脅威が最も大きな地域で集中的に予防接種を行わなくてはならない」とし、撲滅達成に向けて速やかに対応する必要性を訴えました。

また、ポリオ撲滅が達成されれば、2035年までに400億~500億ドルの医療費の節約が期待できるとも予測されています。

カルヤン・バネルジー国際ロータリー会長は、「インドでの成功例が証明するように、ポリオ撲滅は達成できます。問題は、それを支援する政治的・社会的意思があるかどうかです。ここで撲滅活動をやめてしまえば、毎年20万人の子どもたちが身体の自由を奪われてしまいます」と話します。

